

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 8

単元名	[20までのかず (啓林館)] [10よりおおきいかず (東京書籍)]	①~③ (/ 3) 知識・理解	④~⑥ (/ 3) 技能	⑦~⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()					

○ に あてはまる かずを かきましょう。

① 10と で 18

② 20は 10 と

③ 15 から 5を とると

[①~③知識・理解]

○ に あてはまる かずを かきましょう。

④ 12 14

⑤ 18 17

⑥ 14 18

[④~⑥技能]

○ に あてはまる かずを かきましょう。

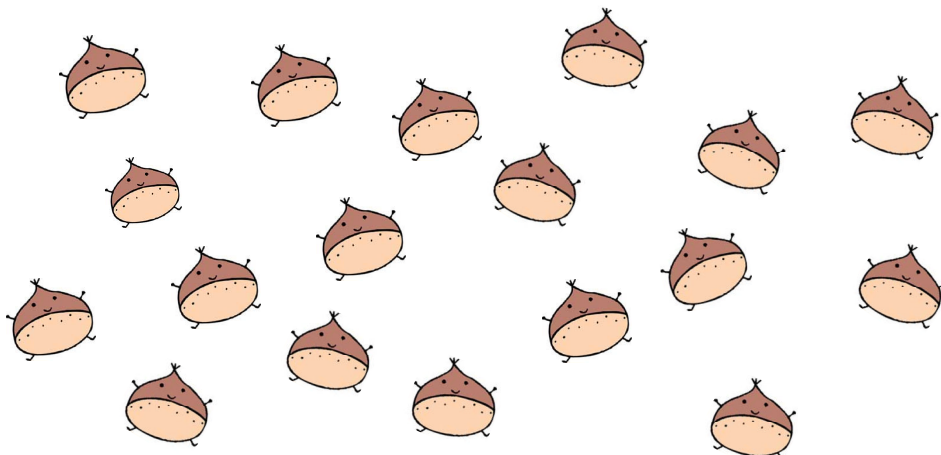
⑦ 17は より 7 おおきい かず

⑧ 16は 10より おおきい かず

⑨ 18は 20より ちいさい かず

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑩ 10の まとまりを せんで かこんで くりの かずを かぞえましょう。



くりのかずは

[⑦~⑩考え方]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト8 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

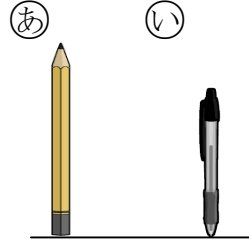
単元名		[8 20までのかず(啓林館P58~P67)] [6 10よりおおきいかず(東京書籍P60~P69)]							
〈学習指導要領〉		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 イ 個数や順序を正しく数えたり表したりすること。 ウ 数の大小及び順序を考えることによって, 数の系列を作ったり, 数直線の上に表したりすること。 エ 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど, ほかの数と関係付けてみること。							
A 数と計算									
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	数の合成・分解がわかる。	8			○		○		90%
②	数の合成・分解がわかる。	10			○		○		90%
③	数の合成・分解がわかる。	10			○		○		90%
④	10より大きい数を小さい順に並べることができる。	13		○			○		90%
⑤	10より大きい数を大きい順に並べることができる。	19		○			○		90%
⑥	2とびの数え方で数を順序よく並べることができる。	16		○			○		80%
⑦	17を10と7に分けて, 答えを考えることができる。	10	○				○		80%
⑧	16は10よりいくつ大きいかを考えることができる。	6	○				○		80%
⑨	18は20よりいくつ小さいかを考えることができる。	2	○				○		80%
⑩	10のまとまりを考えて, 数を数えることができる。	10のまとまりをせんで囲む ことと くりのかずは18こ	○					○	80%
合計 10 問			4	3	3	0	9	1	85%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 9

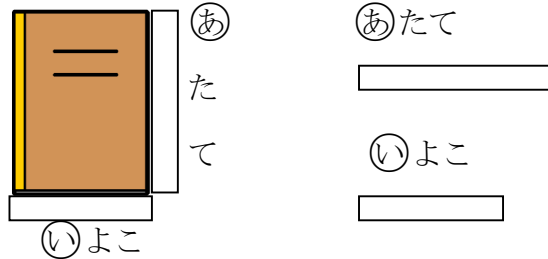
単元名 [おおきくらべ (1) 長さ (啓林館)] [どちらがながい (東京書籍)]	①② (/ 2)	③~⑤ (/ 3)	⑥~⑧ (/ 3)	得点 (/ 8)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()	知識・理解	技能	考え方	

○ ながいのは どちらでしょう。きごうで こたえましょう。

①

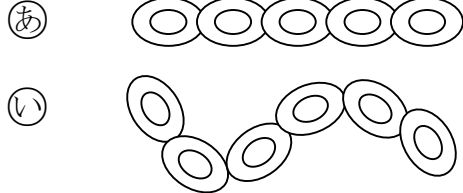


②

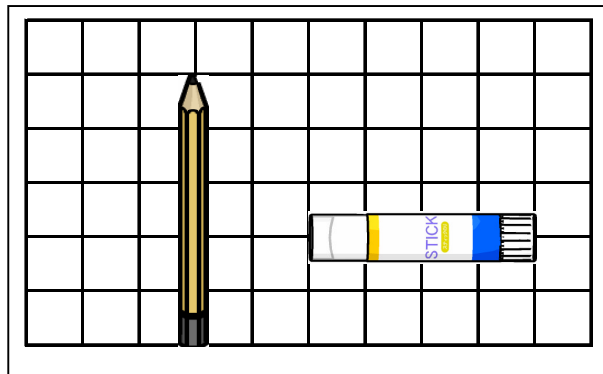


[①② 知識・理解]

③



○ つぎの えんぴつと のりは が いくつぶんの ながさになるでしょう。



④ えんぴつ

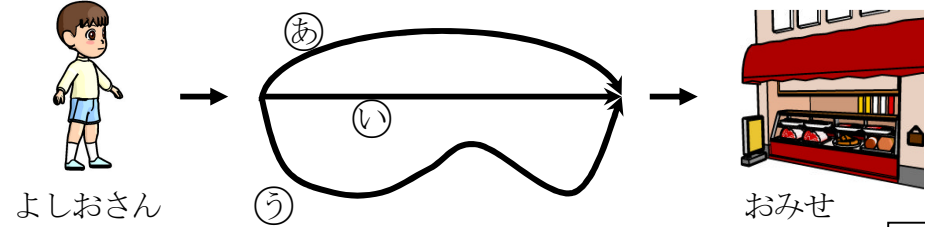
 つぶん

⑤ のり

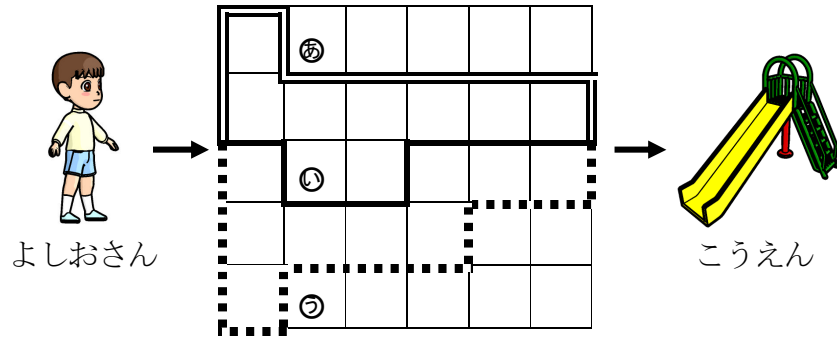
 つぶん

[③~⑤ 技能]

⑥ よしおさんが おみせに かいものに いきます。どの みちが いちばん ちかいですか。きごうで こたえましょう。



⑦ よしおさんが こうえんに いきます。どの みちが いちばん ちかいですか。きごうで こたえましょう。



⑧ 大きさのちがう ふたつの つくえの よこの ながさを くらべます。たかしさんは ふたつの つくえを くっつけて くらべました。よしこさんは そのほかの やりかたで ながさを くらべました。よしこさんは どのような やりかたで くらべたのか かきましょう。



[⑥~⑧ 考え方]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト9 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[10 おおきくらべ(1)長さ(啓林館P74~P77)] [8 どちらがながい(東京書籍P77~P81)]							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(1)大きさを比較するなどの活動を通して, 量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 ア 長さ, 面積, 体積を直接比べること。 イ 身の回りにあるものの大きさを単位として, その幾つ分かで大きさを比べること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	ものの長さの直接比較の方法を理解している。	あ			○	○			90%
②	ものの長さの間接比較の方法を理解している。	あ			○	○			90%
③	あるものの長さを単位として, その幾つ分かで長さを比べることができる。	い		○		○			90%
④	方眼の縦のマス目を単位として, その幾つ分かで長さを表すことができる。	5		○			○		90%
⑤	方眼の横のマス目を単位として, その幾つ分かで長さを表すことができる。	4		○			○		90%
⑥	問題の図から, 長さの比べ方について考えることができる。	い	○			○			80%
⑦	方眼のマス目を単位として, 長さの比べ方について考えることができる。	い	○			○			75%
⑧	ものの長さの比べ方について, 任意単位による測定の方法を考えることができる。	ひもやテープでながさをはかってくる。えんぴつなどで, いくつぶんかをはかってくる。など	○					○	70%
合 計 8 問			3	3	2	5	2	1	84%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 10

単元名 [3つのかずのけいさん (啓林館)] [3つのかずのけいさん (東京書籍)]	① (/1) 知識・理解	②~⑤ (/4) 技能	⑥~⑧ (/3) 考え方	得点 (/8)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ()				

○ ①のしきに あてはまる もんだいを、 つぎの (あ) ~ (う) の中から 1つえらび、 きごうでこたえましょう。

① $10 - 5 + 3$

(あ) バスに 10にん のっています。 つぎの バスでい 5にん のりました。 そのつぎの バスでい 3にん のりました。 バスには いま なんにん のっているでしょう。

(い) バスに 10にん のっています。 つぎの バスでい 5にん おりました。 そのつぎの バスでい 3にん おりました。 バスには いま なんにん のっているでしょう。

(う) バスに 10にん のっています。 つぎの バスでい 5にん おりました。 そのつぎの バスでい 3にん のりました。 バスには いま なんにん のっているでしょう。

【① 知識・理解】

○ つぎの けいさんを しましょう。

② $4 + 1 + 5$

③ $10 - 2 - 7$

④ $9 - 6 + 3$

⑤ $3 + 5 - 4$

【②~⑤ 技能】

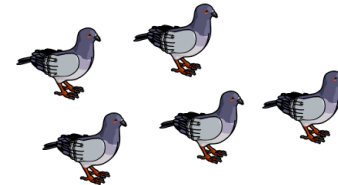
○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑥ こうえんで こどもが 8にん あそんで います。 4にん かえりました。 また ひとり かえりました。 こどもは なんにん のこっているでしょう。

しき	こたえ
----	-----

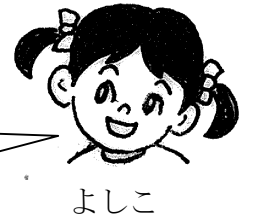
○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑦ はとが 5わ います。 3わ とんで いました。 そのあと 4わ とんで きました。 はとは ぜんぶで なんわに なったでしょう。



このもんだいを よしこさんは

$5 - 3 = 2$
 $2 + 4 = 6$



よしこ

と しきを かんがえました。

よしこさんの かんがえたしきを ひとつのしきで かきましょう。

しき

⑧ はなさんと たろうさんは それぞれ 7こ くりを もっていました。

はなこ

くりを 6こ たべました。 ⇒ そのあと くりを 2こ もらいました。

たろう

くりを 2こ もらいました。 ⇒ そのあと くりを 7こ たべました。

さいごに くりを たくさん もっているのは どちらでしょう。

わけを しきや ことばで せつめいしましょう。

()さん

[せつめい]

【⑥~⑧ 考え方】

小学校第1学年 単元別たしかめテスト10 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[11 3つのかずのけいさん (啓林館P80~P82)] [9 3つのかずのけいさん (東京書籍P83~P86)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2) 加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	3つの数の計算で, 加法及び減法が用いられる場合を理解している。	(う)			○	○			90%
②	加法を使って3つの数の計算が確実にできる。	10		○			○		90%
③	減法を使って3つの数の計算が確実にできる。	1		○			○		90%
④	加法と減法を使って3つの数の計算が確実にできる。	6		○			○		90%
⑤	加法と減法を使って3つの数の計算が確実にできる。	4		○			○		90%
⑥	問題場面をとらえて, 3つの数の式と答えを考えることができる。	$8 - 4 - 1 = 3$ 3にん	○				○		80%
⑦	2つの式で考えたものを, 3つの数を使ったひとつの式として考えることができる。	$5 - 3 + 4$	○				○		80%
⑧	問題場面をとらえて, 3つの数の式や状況から答えを考えることができる。	はなこさん [せつめい] はなこさんは $7 - 6 + 2 = 3$ で今3こもっている。 たろうさんは $7 + 2 - 7 = 2$ で今2こもっている。 だから, はなこさんの方が, たくさんくりもっている。	○					○	70%
合 計 8 問			3	4	1	1	6	1	85%

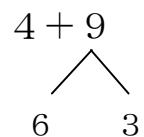
小学校第1学年 単元別たしかめテスト 11

単元名 [たしざん (2) (啓林館)] [たしざん (東京書籍)]	① (/1) 知識・理解	②~⑤ (/4) 技能	⑥~⑧ (/3) 考え方	得点 (/8)
1ねん () くみ () ばん なまえ()				

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

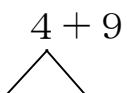
① 4+9の けいさんの しかたを かんがえます。

よしおさんは



「9を6と3に
わけてかんがえて
4に6をたして10
10と3で13」
と かんがえました。

かずこさんは



「4をわけて かんがえたよ。」と
いっています。

かずこさんは どのようにかんがえたか
かきましょう。

4を

[①知識・理解]

○ つぎの たしざんを しましょう。

② 9+6

③ 5+8

④ 6+6

⑤ 4+9

[②~⑤ 技能]

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑥ ほんを よんでいます。

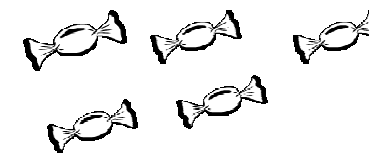
きのうは 8ページ よんで きょうは 3ページ よみました。
ぜんぶで なんページ よんだでしょう。



しき	こたえ
----	-----

⑦ あめを 5こ もっています。

ともだちから 7こ もらいました。
あめは あわせて なんこに なったでしょう。



しき	こたえ
----	-----

⑧ こたえが 14に なる たしざんの しきを 5つ つくります。

つぎの かずから えらんで つくりましょう。

5	6	7	8	9
---	---	---	---	---

おなじ すうじを 2かい つかっても よろしい。

$$\square + \square = 14$$

$$\square + \square = 14$$

$$\square + \square = 14$$

$$\square + \square = 14$$

$$\square + \square = 14$$

[⑥~⑧考え方]

小学校第1学年 単元別たしかめテスト11 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[12 たしざん(2) (啓林館P84~P95)] [11 たしざん (東京書籍下P3~P10)]							
〈学習指導要領〉 A数と計算		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 エ 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど, ほかの数と関係付けてみること。 (2) 加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	繰り上がりがある1位数と1位数の加法で, 被加数を分解して計算する方法を理解している。	4を3と1にわけてかんがえて 1に9をたして10 10と3で13			○		○	80%	
②	繰り上がりがある1位数と1位数の加法で, 被加数よりも加数の方が小さい場合の計算が確実にできる。	15		○			○	90%	
③	繰り上がりがある1位数と1位数の加法で, 被加数よりも加数の方が大きい場合の計算が確実にできる。	13		○			○	90%	
④	繰り上がりのある1位数と1位数の加法で, 被加数と加数とが同じ数の場合の計算が確実にできる。	12		○			○	90%	
⑤	繰り上がりがある1位数と1位数の加法で, 被加数よりも加数の方が大きい場合の計算が確実にできる。	13		○			○	90%	
⑥	問題文から加法であることを判断し, 式と答えを考えることができる。	(しき) $8+3=11$ (こたえ) 11ページ	○				○	80%	
⑦	問題文から加法であることを判断し, 式と答えを考えることができる。	(しき) $5+7=12$ (こたえ) 12こ	○				○	80%	
⑧	1つの数をいろいろな数の和として考えることができる。	$5+9, 9+5, 6+8, 8+6, 7+7$	○			○		70%	
合 計 8 問			3	4	1	1	6	1	84%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 12

単元名 [かたちづくり (啓林館)] [かたちづくり (東京書籍)]

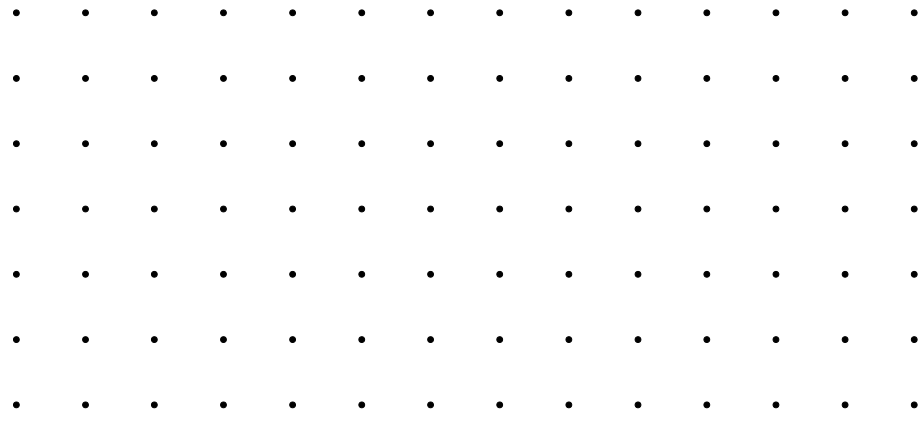
①~⑧
(/ 8)
考え方

得点
(/ 8)

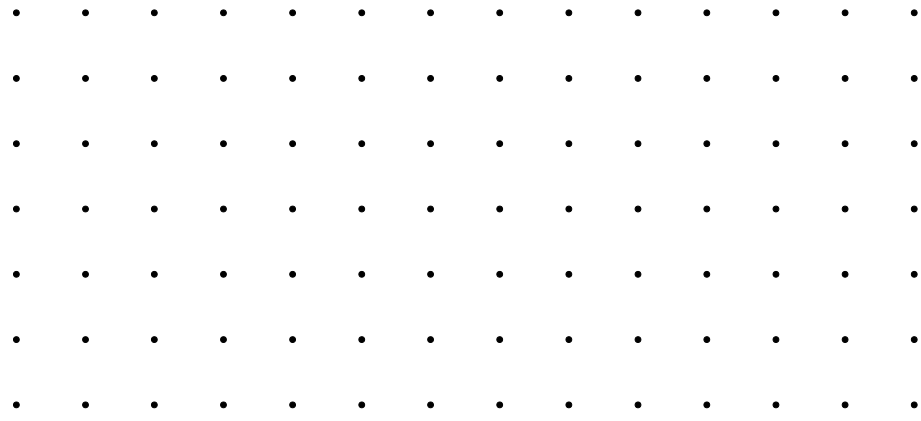
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()

○ てんと てんをつないで ①~④のかたちをつくりましよう。

① ふね



② ちょう



③ いえ

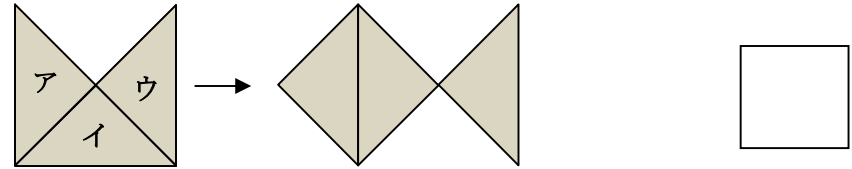


④ さかな

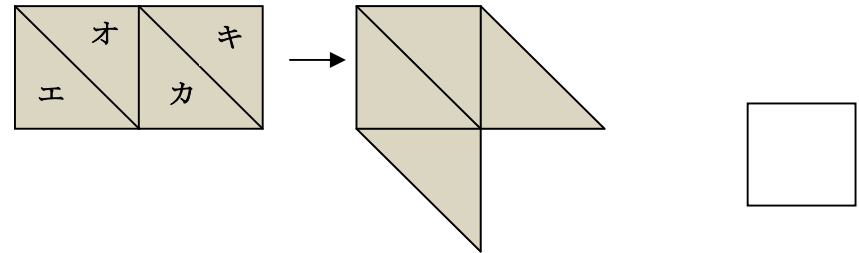


○ いろいたを 1まい うごかして かたちをかえました。うごかしたのは、ア~キのどれでしょうか。しかくに こたえをかきましょう。

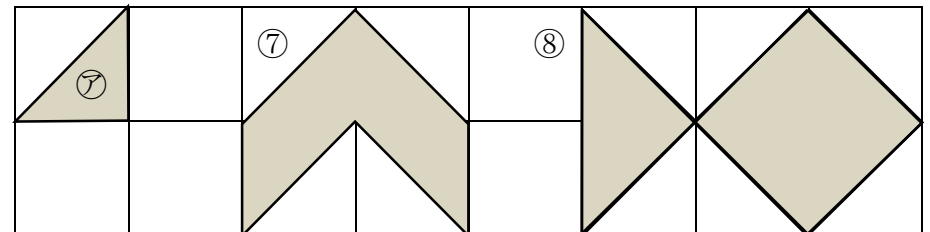
⑤



⑥



○ ⑦と⑧のかたちは ⑦のいろいたが なんまいで できているでしょう。ずのなかに せんをかき いろいたの かずを こたえましよう。



⑦
()まい

⑧
()まい

小学校第1学年 単元別たしかめテスト12 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

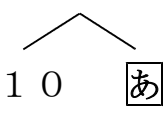
単元名		[13 かたちづくり (啓林館P96~P100)] [18 かたちづくり (東京書籍下P64~P68)]							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して, 図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。 ア ものの形を認めたり, 形の特徴をとらえたりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	点と点をつないで形をかくことができる。	省略	○					○	90%
②	点と点をつないで形をかくことができる。	省略	○					○	90%
③	点と点をつないで形をかくことができる。	省略	○					○	90%
④	点と点をつないで形をかくことができる。	省略	○					○	90%
⑤	色板を動かして別の形をつくることができる。	イ	○			○			80%
⑥	色板を動かして別の形をつくることができる。	キ	○			○			80%
⑦	いろいろな形を見て色板の並べ方を考えることができる。	4まい	○				○		80%
⑧	いろいろな形を見て色板の並べ方を考えることができる。	6まい	○				○		80%
合 計 8 問			8	0	0	2	2	4	85%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 1.3

単元名 〔ひきざん (2) 〔ひきざん (啓林館)〕 (東京書籍)〕	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
1ねん () くみ () ばん なまえ ()				

○ けいさんの しかたを かきます。□にあうかずを () に こたえましょう。

① 12 - 9

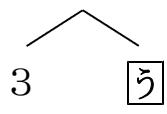


12を 10と □にあうかずを () に わける □ ()

10 から 9を ひいて 1 □ ()

□ と 1を たして □ ()

② 13 - 4



4を 3と □にあうかずを () に わける □ ()

13から 3を ひいて 10 □ ()

10から □を ひいて □ ()

〔①②知識・理解〕

○ つぎの ひきざんを しましょう。

③ 12 - 8

④ 11 - 7

⑤ 15 - 9

○ ひきざんの しきが かかれています かあどが あります。
⑥ こたえが 7になる かあどは ぜんぶで なんまいでしょう。

13 - 9

11 - 5

15 - 8

12 - 5

16 - 8

14 - 7

18 - 9

13 - 6

〔③~⑥技能〕

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑦ かめが 7ひき さかなが 12ひき います。 どちらが なんびき おおいでしょう。

しき

こたえ

⑧ しきが 14 - 5 になる もんだいを つくりましょう。 もんだいの こたえも かきましよう。

もんだい

こたえ

〔⑦⑧考え方〕

小学校第1学年 単元別たしかめテスト13 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単 元 名		〔14 ひきざん(2) (啓林館P102~P115)〕 〔13 ひきざん(東京書籍下P17~P24)〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 エ 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど, ほかの数と関係付けてみること。 (2) 加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	繰り下がりのある減法の計算の仕方がわかる。(減加法)	あ・2, い・3			○		○		90%
②	繰り下がりのある減法の計算の仕方がわかる。(減々法)	う・1, え・9			○		○		80%
③	繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。	4		○			○		90%
④	繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。	4		○			○		90%
⑤	繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。	6		○			○		90%
⑥	繰り下がりのある減法の計算ができ, 条件に合う答えのカードを見つけることができる。	4まい		○			○		80%
⑦	問題文から, ちがいを求める減法であることを判断し, 式と答えを考えることができる。	12-7=5 さかなが5ひきおおい。	○				○		80%
⑧	条件に合う減法の問題文を考え, その答えも求めることができる。	おりがみが14まいあります。そのうち5まいつかいました。のこりはなんまいでしょう。 こたえ 9まい	○					○	75%
合 計 8 問			2	4	2	0	7	1	84%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト 14

単元名 [0のたしざんとひきざん (啓林館)] [あわせていくつ ふえるといくつ, のこりはいくつ ちがいはいくつ (東京書籍)]	①~② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦~⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()				

○ たまいれを 2かい しました。かごの なかには いった たまのかずを あわせると なんこに なるでしょう。しきと こたえを かきましょう。

①



1かいめ



2かいめ

=

②



1かいめ



2かいめ

=

〔②知識・理解〕

○ けいさんを しましょう。

③ $8 + 0 =$

④ $0 + 10 =$

⑤ $7 - 7 =$

⑥ $7 - 0 =$

〔③~⑥技能〕

○ つぎの もんだいに それぞれ しきと こたえを かきましょう。

⑦ クッキーが 5まい あります。たかしさんは 4まい たべました。クッキーは なんまい のこって いるでしょう。

しき

こたえ

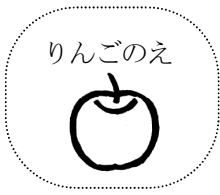
⑧ クッキーが 5まい あります。ひろみさんは 1まいも たべませんでした。クッキーは なんまい のこって いるでしょう



しき

こたえ

○ もんだいに こたえましょう。

⑨ $0 + 2$ を あらわす ずになるように、つぎの の なかに りんごの えを かきましょう。また に こたえも かきましょう。



【ず】  と  をあわせると

$0 + 2 =$

⑩ $6 + 0$ の しきになる おはなしを つくりましょう。

〔⑦~⑩考え方〕

小学校第1学年 単元別たしかめテスト14 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		[15 0のたしざんとひきざん(啓林館P118~P119)] [4 あわせていくつ ふえるといくつ 5 のこりはいくつちがいはいくつ(東京書籍P45, P53)]							
〈学習指導要領〉		(2)加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、それらの計算が確実にできること。							
A 数と計算									
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	合併の場面が加法の式で表されることを理解している。	$3 + 1 = 4$			○		○	90%	
②	合併の場面が0を用いた加法の式で表されることを理解している。	$3 + 0 = 3$			○		○	90%	
③	加数が0の場合の計算が確実にできる。	8		○			○	90%	
④	被加数が0の場合の計算が確実にできる。	10		○			○	90%	
⑤	差が0の減法の計算が確実にできる。	0		○			○	90%	
⑥	0を用いた減法の計算が確実にできる。	7		○			○	90%	
⑦	問題文から求残の場面であることを読み取り、減法を用いて式と答えを考えることができる。	$5 - 4 = 1$ 1まい	○				○	80%	
⑧	問題文から求残の場面であることを読み取り、0を使った減法を用いて式と答えを考えることができる。	$5 - 0 = 5$ 5まい	○				○	80%	
⑨	加法の式が表す図を考えることができる。	 2	○				○	80%	
⑩	$6 + 0$ の式を用いるおはなしを考えることができる。	おにいさんはかぶとむしを6びきとりました。おとうとは1びきもとれませんでした。かぶとむしは あわせて何びきでしょう。	○				○	70%	
合 計 10 問			4	4	2	0	8	2	85%

小学校第1学年 単元別たしかめテスト[15]

単元名 [ものとひとのかず (啓林館)] [ずをつかってかんがえよう (東京書籍)]	① (/ 1) 知識・理解	②③ (/ 2) 技能	④~⑦ (/ 4) 考え方	得点 (/ 7)
1ねん ()くみ ()ばん なまえ ()				

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

① 8-3のしきに なる もんだいを つぎの (あ)~(う)の中から 1つえらび きごうで こたえましょう。

(あ) 8人が ひとりずつ じゅんに バスに のります。 よしおさんは 前から 3ばんめに います。 よしおさんの うしろに なん人 いるでしょう。

(い) 8人に 1まいずつ がようしを くばりました。 まだ がようしが 3まい のこって います。 はじめに がようしは なんまい あったでしょう。

(う) あめを 8こかいました。 ガムは あめより 3こ おおく かいました。 ガムは なんこ かったでしょう。

〔① 知識・理解〕

○ こどもたちが でんしゃの きっぷを かうために 1れつに ならんでいます。 かずさんの まえには 7人います。 つぎの もんだいに こたえましょう。

② こどもたちを つぎのように ○であらわすと かずさんは どの ○になるでしょう。 ○を くろく ぬって こたえましょう。

(まえ) ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (うしろ)

③ かずさんは まえから なんばんめでしょう。 ()ばんめ

〔②③ 技能〕

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

④ ケーキが 10こ あります。 6人が 1こずつ たべると ケーキは なんこ のこる でしょう。

しき

こたえ

⑤ こどもが 8つの いすに ひとりずつ すわると 5人 すわれませんでした。 こどもの かずは なん人でしょう。

しき

こたえ

⑥ クラスで せの じゅんに ならぶと けんじさんは まえから 4人めに なります。 けんじさんの うしろには 13人います。けんじさんの クラスは なん人でしょう。

しき

こたえ

⑦ カルタとりで はなさんは たろうさんより 2まい すくなかったそうです。 たろうさんは 9まい とりました。はなさんは なんまい とったでしょう。

しき

こたえ

〔④~⑦考え方〕

小学校第1学年 単元別たしかめテスト15 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[16 ものとひとつのかず (啓林館P120~P121)] [17 ずをつかってかんがえよう (東京書籍下P56~P63)]							
〈学習指導要領〉		(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して, 数の意味について理解し, 数を用いることができるようにする。 イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。							
A 数と計算		(2) 加法及び減法の意味について理解し, それらを用いることができるようにする。 ア 加法及び減法が用いられる場合について知ること。 イ 1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が確実にできること。 ウ 簡単な場合について, 2位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	文章題から減法が用いられる場合についてわかる。	あ			○	○			75%
②	問題文の人数をもとに, 位置を図に表すことができる。	前から8番目をぬる		○			○		80%
③	人数を順番に置き換えることができる。	8		○			○		80%
④	問題文から, 減法を用いる場合であると判断して立式し, 答えを考えることができる。	$10 - 6 = 4$ 4こ	○				○		80%
⑤	問題文から, 加法を用いる場合であると判断して立式し, 答えを考えることができる。	$8 + 5 = 13$ 13人	○				○		80%
⑥	問題文から, 順番を人数に置き換えて, 加法を用いる場合であると判断して立式し, 答えを考えることができる。	$4 + 13 = 17$ 17人	○				○		80%
⑦	問題文から, 減法を用いる場合であると判断して立式し, 答えを考えることができる。	$9 - 2 = 7$ 7まい	○				○		85%
合 計 7 問			4	2	1	1	6	0	80%